

クム

2013年2月号

— 日ごとの糧を 共に —

カトリック麹町 聖イグナチオ教会

《献米だより》
四ツ谷おにぎり仲間
カレーの会
そして
ミニバザー



私が「四ツ谷おにぎり仲間」に参加し始めた2001年頃には、貧困は可視化されておらず、バブルが崩壊した後もなお「豊かな国、日本」というイメージがまだ強く残っていたと思います。インターネットで「貧困」をキーワードに検索しても、国内のことではなく他の国の問題として扱われているものがほとんどでした。そんな中で路上生活者が路上での生活から脱却したいと役所に相談に行っても、冷たくあしらわれるのが常で、現在であれば新聞のネタになってしまいような差別的な言葉を投げつけられることも珍しいことではありませんでした。初めてそうした光景を目の当たりにしたとき、大変な衝撃を受けました。激しい憤りと何もできない自分への悔しさ、いまでも忘れることができません。私が何らかの事情で生活に困窮したときには、きっと同じような扱いを受けるのだと確信しました。

あれから10年余り経った今、テレビや新聞などでこの国の貧困問題が題材として取り上げられることが頻繁になってきています。貧困はどこか遠い国の問題ではなく、私たちのすぐ目の前にある現実としてようやく可視化されるようになりました。けれども、路上生活者や生活に困窮している人に対する世間一般の目は、以前に比べて温かくなっただでしょうか？残念ながらそうは見えず、むしろ他人に対する眼差しは更に厳しく冷たくなっていると感じています。それが顕著に表わされたのが、東日本大震災被災者へのバッシング、そして生活保護制度及び利用者へのバッシングではないでしょうか。他人の置かれた状況やその辛さには全く無関心なのに、他人の生活を批判したがる人の多さに驚くほどです。同情はしても共感がなく、寛容さを失った眼差しは、いつか自らをも追い詰めてしまいます。

人間はそれほど強く生きられないから、社会を作り、互いを支え協力して生きることを選んだはずです。支えや協力が得られず、「自助」ばかりが強調されるのであれば、社会の意味を失い、群れに属さず孤独に生きる野生動物のように生きるしかなくなってしまいます。寄り添うことによって生まれる安心感や温かさを取り戻すことが、私たちには必要とされているのではないのでしょうか。

「クム」という名前はラテン語の cum が由来で、「仲間」や「ともに」を表す言葉だと聞きました。今ここにいる人と「ともに」、力を合わせて社会を成して生きるヒントを得たり再発見したりする場として、ふさわしい名前だと思いました。「クム」と同じような場が、より多くの地域で生まれて、より広がっていくことを祈り期待しています。



1月の献米報告

お米・・・・・・・・・・127キロ
お米券・・・・・・・・・・36枚
お米券相当現金・・36,000円
海苔・・・・・・・・・・66枚と1缶
梅干し・・・・・・・・・・4パック&1瓶(手造り)
サランラップ・・2本
お茶・・・・・・・・・・3袋

ありがとう
ございました



今後の献米日の予定

3月 2日(土) 午後5時45分～6時(18時のミサの前)
3月 3日(日) 午前8時20分～11時半(8時半、10時のミサの前後)

- 集めているものは、お米券、白米(玄米はご遠慮ください)、梅干し、海苔、ラップです。
- 毎週土曜日、14:00～17:00まで、テレジアホールのパントリー1でも、四ツ谷おにぎり仲間が献米を受け付けております。

おにぎりの会報告

1月の土曜日おにぎり配布個数は、総計585個となりました。ご協力ありがとうございました。

カレーの会報告

1月のカレーの会では、カレーを召し上がった方792人、シャワー利用者は26人、ヘアカットはゼロでした。今後ご協力宜しくお願いします。

1月度ミニバザーの収益金報告

1月のミニバザー売上げ高は 84,930円でした。皆様のご協力に心より感謝いたします。

次回のミニバザー開催日・・・2月17日(日) 午前9時～午後2時

場所：主聖堂正面前

開催日は原則として第3日曜日です。
宜しくお願い致します。

☆ミニバザーのための献品・・・毎週日曜日 午前8時半～午後1時半

メリエンダ入口の献品収集ケースに入れてください。

かさばる品・賞味期限切れの食品はご遠慮ください。

保管場所狭小のため、中古衣類は、扱いません。

☆ホームレスの方々への献品・・・献品場所・時間はミニバザー献品と同じです。

男物春衣料(ズボン・ポロシャツ等)・タオル・石鹸・髭剃り・帽子

靴下・男物下着・スニーカーなど。(背広・ネクタイは扱いません)

男性用中古品も歓迎します。

